

Member's Interview

愛・地球博、中部千年共生村に展示され話題を呼んでいる千年時計の製作者は、32歳の時計師。企画、営業、経営ビジョン、さまざまな歯車をひとつひとつ噛みあわせ、ここ名古屋の地で確かな針を刻んでいます。

会員インタビュー

ナルセワールス 有限会社

魅せるモノづくり

← 地盤作りの中で見えてきたモノづくりへの情熱

29歳での独立。なぜ、機械式時計を？

大学卒業後就職し、自動車生産ラインの設計や機械設備の開発を任されていたが、取引先の都合により何度かプロジェクトが頓挫し、サラリーマンの限界を感じたことがきっかけです。何か自分にしか出来ないモノを創ろうと考えた時、リサイクルショップで古時計を見つけ、動き続ける歯車の生き物にも似た神秘的な魅力に惹かれたこと、当時の仕事で携わっていた板金をレーザーカットする技術を生かせると思い、文字盤の裏に隠れている動力部分を、あ

て魅せることにこだわった時計を作ろうと決めました。

しかし機械式時計の核となる、ゼンマイを生産しているメーカーは日本には少なく、富山県から特別なゼンマイを取り寄せ、試行錯誤

誤の末、ようやく3秒動いた時「いける！」と思えました。3秒が5秒、5秒が1分そして10分になればしめたもの。デザインも決まり、約1年後に試作品が出来上がりました。

← チャンス到来！万博へ出展

機械式時計の反響はいかがでしたか？

多くの方に商品を見てもらおうと、大手雑貨店へ売り込みに行ったところ、とんとん拍子で話が進み、生産も販売も軌道に乗り始めた頃、タイミングよく舞い込んできたのが万博の千年時計の製作依頼。環境万博ということで、歯車を木質プラスチックで作るという難しい技術が必要となりましたが、「できます！」と2つ返事で受けました。たまたま可能性が未知数でも、経験値を駆使して糸口を見つけ、一歩ずつゴールに近づく。それがモノづくりの楽しさです。万博はまたとないPRのチャンスですから、新しい工房を構え、従来の商品をモデルチェンジし、デパートへの売り込みも始めました。お陰様で、万博期間限定モデルは生産が追いつかないくらい好評を頂いています。

← 目に見える、わかりやすい企業でありたい

今後の展開は？

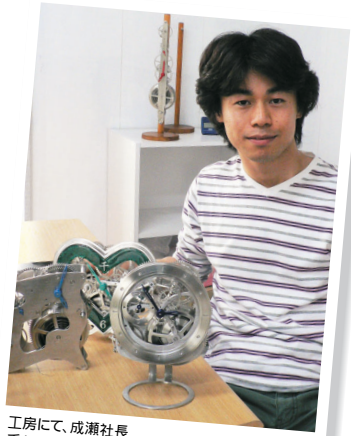
日本の製造業は、現在コストダウン路線をひた走っていますが、私は逆転の発想で、手間隙をかけた、手づくりの良さを付加価値と感じてもらえるようなモノを創ってい



自らの工房で製作した千年時計の歯車



愛・地球博 中部千年共生村「千年時計」



工房にて、成瀬社長
手前2種類の時計は初期モデル。
緑の文字盤(七宝焼)が美しいハート型は万博限定モデル

Company Data

ナルセワールス 有限会社		【会社概要】
代表者	代表取締役	成瀬 拓郎
所在地	名古屋市港区東蟹田234	
TEL	052-301-2972	
URL	http://www.n-walrus.com	
営業内容	機械式時計製造、販売	
資本金	300万円	
従業員数	4人	

きたいです。新分野ではIT産業が注目されていますが、ナルセワールスは、その製品をばつと見た瞬間、「すごい、どうやって動くんだろ」と、ワクワクや驚き、幸せを感じてもらえる企業でありたい。そして時計を伝統事業(核)として、理念をもった製品を生み出し、ナルセブランドを世界へ浸透させていきたいです。

モノづくりに途でありながらも、自らチャンスを作り、そして偶然のチャンスを逃さず成功へ導く、しなやかに時代に沿った経営者。ナルセワールスの今後に目が離せません。